

平成30年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	愛玩動物	単位数	2	学年・学科	3学年・A科(選択)
教科書		副教材	日本愛玩動物協会「愛玩動物飼養管理士2級教本」				

学習目標	<p>○愛玩動物の飼育方法を理解します。</p> <p>○愛玩動物の飼養管理に必要な知識や技術を習得します。</p> <p>○動物愛護に関する法律を学びます。</p>
学習方法	<p>○実験実習をととして飼養管理技術の習得と、動物愛護の態度と技能を育てます。</p>

	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					考査	考査以外
学習評価	a 関心・意欲・態度	愛玩動物について興味・関心を持ち、学習に意欲的に取り組む態度を身につけている。	前期中間	25%	10	15
			前期末	25%	10	15
			後期中間	25%	10	15
			後期末	25%	10	15
	b 思考・判断・表現	愛玩動物に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、課題を適切に判断することができる。	前期中間	25%	10	15
			前期末	25%	10	15
			後期中間	25%	10	15
			後期末	25%	10	15
	c 技能	実験実習をととして愛玩動物の飼養管理に関する基礎的な技術を身につけ、飼養管理に必要なデータの客観的分析ができる。	前期中間	25%	15	10
			前期末	25%	15	10
			後期中間	25%	15	10
			後期末	25%	15	10
	d 知識・理解	愛玩動物に関する基礎的な知識を身につけ、人と動物の関係について理解している。	前期中間	25%	20	5
			前期末	25%	20	5
			後期中間	25%	20	5
			後期末	25%	20	5

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点					単元の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期中間	○愛玩動物飼養管理士の社会活動	・愛玩動物管理士とは何か、その活動内容について理解します。	○	○		○	a: 愛玩動物に関する諸課題について関心をもつことができる。 b: 愛玩動物に関する思考を深め、諸課題の解決を目指す態度を身に付けている。 d: 愛玩動物管理士の意義や役割、動物のからだの基本のしくみを理解している。	・授業態度 ・小テスト ・授業ノート ・定期考査	
	○動物愛護論	・日本人の動物観、西洋との違いについて理解します。	○	○		○			
	○動物のからだの仕組みと働き	・動物のからだの基本の仕組みについて理解します。	○	○		○			
前期末	○動物愛護論	・近代的動物愛護運動とアニマルライツ(動物の権利)について理解します。	○	○		○	a: 愛玩動物に関する諸課題について関心をもつことができる。 b: 愛玩動物に関する思考を深め、諸課題の解決を目指す態度を身に付けている。 c: 飼養管理上の問題解決に必要な知識を身に付けている。 d: 近年の動物愛護論、適正な飼養管理について理解している。	・授業態度 ・小テスト ・授業ノート ・定期考査	
	○人と動物の関係学	・人と動物の関係について理解します。		○		○			
	○動物の飼養管理(総論)	・適正な飼養管理とはどんなものかを理解します。また、本校の飼養管理について考えます。	○	○	○	○			

後 期 中 間	<p>○動物関係法令概説</p> <p>○犬の飼養管理</p> <p>○猫の飼養管理</p>	<p>・動物関係の法令について理解します。</p> <p>・犬の歴史と特徴、飼養管理について理解します。</p> <p>・猫の歴史と特徴、飼養管理について理解します。</p>	○	○		○		<p>a: 愛玩動物に関する諸課題について関心をもつことができる。</p> <p>b: 愛玩動物に関する思考を深め、諸課題の解決を目指す態度を身に付けている。</p> <p>c: 飼養管理上の問題解決に必要な知識を身に付けている。</p> <p>d: 法令、犬猫の適正な飼養管理について理解している。</p>	<p>・授業態度</p> <p>・小テスト</p> <p>・授業ノート</p> <p>・定期考査</p>
後 期 末	<p>○動物関係法令概説</p> <p>○その他の哺乳類の飼養管理</p> <p>○鳥類の飼養管理</p>	<p>・動物関係の法令について理解します。</p> <p>・ウサギ、ハムスター、モルモット、フェレット等の飼養管理について理解します。</p> <p>・インコ、オウム類、フィンチ・カナリア類等の飼養管理について理解します。</p>	○	○		○		<p>a: 愛玩動物に関する諸課題について関心をもつことができる。</p> <p>b: 愛玩動物に関する思考を深め、諸課題の解決を目指す態度を身に付けている。</p> <p>c: 飼養管理上の問題解決に必要な知識を身に付けている。</p> <p>d: 法令、鳥類などの適正な飼養管理について理解している。</p>	<p>・授業態度</p> <p>・小テスト</p> <p>・授業ノート</p> <p>・定期考査</p>